

# 令和元年度 第5回 京丹波町子ども・子育て審議会 議事概要

日時：令和2年2月6日（木） 午前9時30分～午前11時15分

場所：京丹波町中央公民館3階 大会議場

出席委員：15名

欠席委員：5名

## 1 開会あいさつ（会長）

会長：本日は、第5回京丹波町子ども・子育て審議会を開催したところ、積雪もあり厳しい寒さが続く中、またそれぞれお忙しいところ、多くの委員様にお集まりいただきありがとうございます。また、本日は大変お忙しい中、アドバイザーの原先生にも出席いただいております。

世間では新型コロナウイルスの感染にかかるニュースがメディアを騒がせているところですが、感染された方々の病状のご回復と、心配されている事態が一日も早く終息に向かうことを心から祈念しております。

さて、本日で5回目を重ねる審議会ですが、ようやく最終計画案の完成を検討する運びとなりました。この間、委員の皆様からの貴重なご意見や審議を積み上げてきた成果でもあります。本日は、パブリックコメントとして広く町民の皆様方にも公開いただいた意見や、アドバイザーの原先生のご指導も反映させるべく完成させた計画案について慎重審議をお願いしたい。この間、貴重なアドバイスをいただき、また同時に多くの励ましをいただいた原先生もお忙しい中、遠方よりお越しいただいています。子どもたちの健やかな成長を考えながら議論していただいた皆様の知恵と英知を出し合って作り上げた計画書であります。皆様方にこの間の感謝を申し上げ、本日も慎重審議をいただきますようよろしくお願いいたします。

## 2 協議事項

### （1）パブリックコメントの結果について

会長：それでは、次第に基づき、協議事項に移らせていただく。協議事項（1）パブリックコメントの結果について、事務局から説明願います。

#### 【事務局によるパブリックコメントの結果について説明】

会長：事務局からパブリックコメントの結果について説明があった。何かご質問などはないか。パブリックコメントのご意見には専門的な内容もあり、分析もしながら本計画に掲載しているものもあるし、先進的な取組に対する提案もあるので、これからできるだけ反映できたらという説明であった。計画書の中に反映した内容もあるとの説明もあったので、次の協議事項でもある計画書の内容を確認していただきながら、一緒に協議をしていただくということで次の協議事項に進ませていただく。

### （2）計画書の内容確定について

会長：続きまして、協議事項（2）計画書の内容確定について、事務局から説明願います。

#### 【事務局による計画書の内容確定について説明】

会長：パブコメを受けて、また、事前に原先生からのアドバイスに基づいた修正等があった部分に

ついて説明があったが、随分付け加えをしてもらっている。パブリックコメントの実施から修正までの期間も短い中で、会長及び副会長も一緒になり考えさせていただき、追加した箇所などは苦労したところである。原先生からは、まずより具体性を持たせるようにということと、京丹波町らしさをどこかに表現しなければならないということ、また初めて京丹波町に来られた方に子育ての関連施設をまとめて、目で見えてわかる資料を地図で追加をし、多少工夫させていただいた。ここで、完成に向けてご助言をいただいた本審議会のアドバイザーの原先生からひとことご意見をいただき、その後、委員の皆様にご意見をいただきたい。

**アドバイザー：**良い計画になった。京丹波町らしいものをつくらないと、皆さんが手に取っていただきづらいであろう。今回修正をしたことで、特に下線があった部分については、より具体的に なったし京丹波町にはこういう施策があるんだ、こういうところに行けばいいんだと見やすい読みやすい、京丹波町らしいものになったと思う。強いて言えば、計画は、町に住んでい る方に必要な情報が盛り込まれているか、また町に住んでいない人にもわかりやすい情報があることが重要であり、「行ってみたいな、住んでみたいな、子育てしたいな」と思ってもらえることが重要である。子育て真っ最中の人、見たいものはどこか。ほしい情報は何かという点で見直せば、この計画は確定であろう。後半にいろいろなデータが掲載されているが、京丹波町の子育てのしやすさなどは、どの部分に記載があるのか。そのあたりをクローズアップしてはどうか。この町が子育てしやすい町ですよ、満足度が高いですよということ を、もっと力を入れてクローズアップしてはどうか。あとは、優しいイラストやコメントなどを入れて、そこに目が止めるようなひと工夫をされると、京丹波町は温かいまちであると印象付けるものになると考える。

**会 長：**ありがとうございます。ひと工夫の部分についてのアドバイスもいただきました。このあたりは、改めて事務局で工夫していただくとありがたい。その他、委員の皆様からご意見なりご質問があればよろしくお願ひしたい。

**委 員：**12 ページのライフデザイン教育推進事業は、和知中学校と社協が取り組まれている赤ちゃんふれあい事業しか知らないが、他の学校でも同じような乳幼児と触れ合うような事業に取り組まれているのか。

**事 務 局：**現時点では、和知中学校のみである。瑞穂中学校と蒲生野中学校では、職場体験の時に、子育て支援センターで赤ちゃんボランティアを募集して、赤ちゃんのおむつ替え体験や抱っこなどの体験をしてもらっている。今後、もう少し教育委員会と協議し、来年度以降、和知中学校のような事業を広げていきたいと考えている。事業名を変えて、取り組んでいく予定である。

**会 長：**良い体験事業なのでもっと広げてほしいというご意見でした。他、何か意見等はあるか。

**委 員：**23 ページの子どもの居場所づくりの推進のところに記載いただいている「TMW」は、細々であるが、ひとり親家庭を中心に行っている事業であり、もっと町独自のことをできればと考えている。現在は、15 日型を行っている。学校に行けない状況の孫の体験を通して、寄り添うということを体験させていただいており、見守っている状況です。町からはやさしく支援していただいている。「TMW」は丹波、瑞穂、和知の頭文字のこと。「TMW」を計画書に掲載いただいたこと嬉しく思う。また応援していただけたらありがたい。

**オブザーバー：**福祉関係団体を中心という記載となっているが、取り組んでいただいている立派な事

業であるので、原先生からのアドバイスを生かすならば、より具体的に明記しておくのはいいことであると思う。

委員：これからの子育てについて、みんなで考えたいという思いとほっておけないということで、この会議に参加させていただいた。昔と同様、自分の子どもだけでなく、他の子どもも一緒に育てていくようにしなければいけないと思っている。

会長：隣近所の付き合いは、図々しいというくらいの関わり合いは昔は盛んであったが、そのような古き良き時代の思いやりの心は息づくべきであると思う。文章にすると抽象的なものになるが、そういった思いはこの計画書に具体的な部分で盛り込まれているんだということについてもお含みいただけたら嬉しいと思う。

委員：昔は、地域のコミュニティが自然にできていて、子どもたちの登下校の見守りが盛んな地域であった。そういうコミュニティは、学校が統合され、地域が広がったことでなかなかコミュニティができづらくなった。現在、竹野地区でしておられる「今から下校します。僕たちの見守りをお願いします。」という放送もあり、地域の方にも非常にたくさんの方に関わっていただき見守られている状況で、京丹波町の良いところだと思う。23 ページ、子どもの居場所づくりの推進について、パブリックコメントの意見の中に教育委員会で学校適応支援推進事業を進めていきますと記載があるが、ここにもその事業のことも入れていただければと思う。不登校やひきこもりの子どもたちが気軽に相談できる、ちょっと行って心を休めてみようかなというような事業があれば、そういうことを少し記載いただくと、随分安心される親御さんもおられるのではないかと思う。

オブザーバー：令和2年度から学校適応支援推進事業を立ち上げる予定で現在進めているところである。まず一步を踏み出そう、試行的に進めようということで、うまく適応できれば年度途中からでも拡充していく予定である。教育委員会だけで解決できる問題ではないし、いろんな窓口を設けていただくことで、一人でも多くの子どもが安心して過ごすことができると考える。計画書に追記ができるのであれば、加えていければと思う。

会長：多くの貴重なご意見をありがとうございます。時間の都合もあるので、次に進めていきたい。ここで出された様々な意見であるが、先ほども先生からもあったイラストを入れてわかりやすく、また具体的な部分やもっと実施していることはよりクローズアップして記載するなどがあった。また現在ある修正については、会長・副会長に一任していただきますことについてもご承認いただけましたらこの後、手を加えていきたいと考える。ひとまず、この計画書を本審議会から答申として提出する方向で承認いただける方は挙手をお願いしたい。

各委員：挙手全員

会長：ありがとうございます。それでは、挙手全員ということで、グループワークを重ね、本日の審議会でも多くの貴重なご意見をいただき議論をしていただき、原先生からもアドバイスを受け、より具体的になった本計画書についてを本審議会の案として提出したいと考える。

### (3) 答申書の内容確認について

会長：続きまして、協議事項(3) 答申書の内容確認について、事務局から説明願います。

#### 【事務局による答申書の内容確認について説明】

会長：今、ご承認いただいた計画書についてを、来る2月19日に私会長と佐藤副会長とで審議会を代表して町長室で答申をさせていただく。その答申内容についての説明があった。答申の

場でも皆様方からのご意見も補足をしたいと考えるが、この内容で町長に答申させていただくことでよろしいか。

会 長：答申書の内容について承認いただいたので、この内容で町長に答申をさせていただく。事務局においては、多少修正もあるかと思うが、お示しいただいた計画（案）で答申することで事務を進めてください。

### 3 報告事項

#### （1）認定こども園開設に係る調整事項検討結果について」

##### 【事務局による認定こども園開設に係る調整事項検討結果について説明】

会 長：全体を通してでも構いませんので、何かご意見等ございませんか。最後にアドバイザーの原先生からの総括をお願いしたい。

アドバイザー：本日議論があった計画は、これでよいと思っているし、京丹波町らしさも出て、全く問題ないと思っている。関わりあい、支えあいなど人間同士のつながり合いはとても重要なことであり、これが前に出てくることは、とても有用なことであると思う。一方で、最近子どもたちの学校への行き渋りや不登校傾向の強い小中学生の子どもたちは、文科省の統計データでは16.6千人いる。その背景を研究することが我々の仕事である。昔とは全然違っており、京丹波町がとても大切にしているつながる力や関わる力など人間同士のつながり合いは非常に重要であるが、これが強ければ強いほど、むしろ逆に不登校は増加している。つながって支えるという構造は間違っていないが、京丹波町としてのつながりが強ければ強いほど、この地域に暮らしづらい人が出はじめている。子どもたちも同じで、子ども同士の関係性が強ければ強いほど、その集団に入れたい子たちがでてきている。例えば、運動会や体育祭、合唱コンクールなどの学校行事などの前後にクラスの団結がとても強くなってくると、その時期に、学校にいけない子たちが出てくる。集団のつながりが強くなると、むしろ、その集団に入れたいという多様性を持った子たちが出てくる。子どもたちが病的かといえそうでもない、子どもたちに発達特性があるかといえそうでもない。でも、そういう子たちが増えている。だからこそ、幼少期から、こういう温かい地域で育っていくということの意味はある。ですから、この答申の裏に、そういう多様な価値観が存在する子どもたちがいること、地域が連帯することはとっても重要だが、まとまればまとまるほど、その集団に入りづらい子どもたちが最近多くなっている。我々は、京丹波町として温かい地域として、そういうことも視野に入れておく必要があると考えている。

会 長：子どものネットワークや子どもを取り巻く環境は非常に変化しているということを機敏に大人が察知することが大切である。昔からの定義で子どもをとらえるというのは関わり合いのしすぎに不自由さを感じる子どももいる、関りが悪いということではなく、いろんな場面で配慮していくことも重要となるということである。非常に貴重なご意見をありがとうございました。委員の皆様からはグループワークなどでも様々なご意見をいただき、私にとっても大変参考になった。京丹波町は子どもを取り巻く環境について大人が真剣に考えているまちである、温かいまちであることを再認識できた。改めてご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

事務局：今年度については、当初の予定通り、本日の第5回の審議会をもって終了とさせていただく。原先生には、毎回、目からウロコが落ちるようなアドバイスを賜りましたことに感謝申し上げる。

げる。また委員の皆様には第2期京丹波町子ども・子育て支援事業計画策定に係り計5回の審議会へのご出席、並びに積極的な会議の参加等のご協力に心から感謝申し上げます。なお、今年度の今後の予定であるが、先ほど説明した来る2月19日には町長室において答申する予定であり、その後、議会基本条例に基づき、本計画については議会で審議いただき議決を得る必要があることから、3月議会へ提案を予定していることをご報告させていただく。

#### 4 閉会あいさつ（副会長）

**副会長：**本日は最終の審議会にご出席いただきありがとうございました。また、原先生には、多くのアドバイスをいただき計画作成にお力添えをいただきましたことにお礼を申し上げます。また今後ともどうぞよろしく願いいたします。委員の皆様には5回という大変タイトな日程だったが、グループ討議などにおいて多くの意見交流ができたことを嬉しく思う。また、この会議が始まる時に、皆様のご意見をたくさん出していただく会にしたいな、皆さんの子育ての思いが伝わる計画にしたいな、また計画書を見たときに何を伝えたいかがすぐわかる計画にしたいなと思いながら進めてきた。原先生からのアドバイスで、硬く考えず、情報発信することの大切さも教えていただいたので、活かしていけたらと思う。計画の理念に盛り込んだ”3つの愛”を心にとめていただき、委員の皆様それぞれのお立場で、かかわり合い、かまい合い、つながり合って、みんなで子育て世代を孤立化しないように支えていけますようお願いしたい。

閉会